Universal Shield[™] 3

ユーザガイド



著作権

Copyright © 2004 Everstrike Software. All rights reserved.

Universal Shield User's Guide.

Universal Shield Online Help.

This documentation is published by *Everstrike Software*, and is intended solely for use in conjunction with Universal Shield software. This documentation is available to all current Licensees in print and electronic format. No one may copy, photocopy, reproduce, translate, or convert to any electronic or machine-readable form, or post to a Web site, in whole or in part, the documentation without the prior written approval of *Everstrike Software*.

商標

Universal Shield and *Everstrike Software* are trademarks of Everstrike Software. Microsoft, Windows, Windows NT, Word, and Excel, are registered trademarks of Microsoft Corporation. Adobe, Acrobat, and Acrobat Reader are registered trademarks of Adobe Systems Incorporated. All other brands, company or product names, or trademarks belong to their respective holders.

クレジット

Sean Brierley, Author Philip Hodgers, Managing Editor

日本語ローカリゼーション

株式会社ネクステッジテクノロジー Copyright © 2005 *nextEDGE Technology*, *Inc*. All rights reserved. 2005.01.15 初版 2005.02.05 最終更新

索引

Universal Shield ™について	5
Universal Shieldのインストール	6
Universal Shieldの登録	9
はじめに	11
Universal Shield インタフェース	11
メニュー	11
ボタンとショートカット キー	13
ウィザードの使用	14
ファイルやフォルダを隠すには	14
隠したファイルやフォルダを表示するには	17
リードのみアクセス許可を設定するには	
ファイルを暗号化するには	21
ファイルを複合化するには	24
システムファイル、フォルダ、および設定をプロテクトするには	25
プロテクト設定を変更するには	
Universal Shield ソフトウェアをパスワード保護するには	
ファイル マスクを使って複数のファイルを選択するには	
信頼されたプロセスを設定するには	
ホットキーを設定するには	
ステルスモードを使用するには	
Universal Shield メニューとオプション	34
ファイル	34
オブジェクトのプロテクト	
Universal Shield ウィザード	
ヤキュリティトリック	
2、(ニ)) / ()) / ()) / ()) / () /	37
編集	
コピー	
すべて削除	
从卖	38
オブジェクトの検索	
プロパティ	
·····································	38
暗分に	30
で、「しノイノー」	۵۵ 41
ファイルを複合化する	
クリーン と (及口) ロリーン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
ー、ーノノイー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
/ - / / 1 / 2017日へに (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	+ 2
	/2
パスワードの変更	
パスワードの変更 ステルス モード	

可視モード	
オプション	
常にトップに表示	
終了時にプロテクト	
ウィンドウズ起動時にプロテクト	
パスワード プロテクト	45
ホットキーの設定	45
フォント	
言語	
ヘルプ	
ヘルプ	47
コンテキスト ヘルプ	47
ヒント	
今すぐ購入	47
登録	
バージョン情報	
アルゴリズム	
ヒントとよくある質問	50
パスワードについて	51
Universal Shield サポート	52
Universal Shieldのアンインストール	
	F 4
川	54
赤己	66
▼	

ページ 4

Universal Shield ™について

Universal Shield ™は、安全で簡単に使えるプログラムで、パスワード保護したり、重要なファイルやフォ ルダを簡単にアクセスできないようにすることができます。ご使用のフォルダを完全に見えなくしたり、ア クセスできないようにしたり、またリードのみアクセスにするモードをサポートします。ウィルス スキャナや ディスクドライブ ユーティリティなど指定したプログラムにプロテクトされたアイテムへのアクセスを許可 することができます。プロテクトされたフォルダおよびその内容は、名前を変更したり、変更したり、削除さ れたり、コピー、移動、システムからさえもプロテクトできます。

Universal Shield を使って以下のことができます。

- ファイルを9つの利用可能な <u>アルゴリズム</u>で暗号化
- ファイル、フォルダおよびドライブ(Microsoft® Windows® NT、2000、および XPのみ)を隠す
- マイドキュメント、コントロール パネル、などへのアクセスを禁止する
- Windows デスクトップ、時刻/日付設定、インターネット履歴、および Microsoft Word®ファイルのようなデータファイルを含むファイルの変更を回避
- Universal Shield を非可視モードで実行するステルス機能
- 信頼されたプロセスーウィルス スキャナやディスクドライブ ユーティリティなどは保護されていても アクセスが可能

家庭であろうが、職場であろうが、他の人とコンピュータを共有するあらゆる環境で、Universal Shield は、 ユーザのファイルやフォルダを悪質なプログラム、ユーザ、および危険なウィルスや期待されないアクセ スやアクシデンドによるダメージからセキュリティ保護することができます。

これは、簡単で確実にシステムをセキュリティ保護するためのツールをお探しのすべての人に必要なツ ールです。Universal Shieldは、クラッシュしても、誰かがプログラムを悪意を持って停止したとしても、プ ロテクトしたままで維持できます。

Universal Shield のインストール

Universal Shield をインストールする前に:

- インストレーションを妨げる可能性のあるアンチウィルス ソフトウェアを停止します。
- コンピュータ上のすべてのソフトウェアアプリケーションを終了、閉じます。

注意: Universal Shield のインストレーションが完了後、コンピュータを再起動するための問い合わせが あります。はじめて Universal Shield を実行する場合、ご使用のコンピュータを再起動する必要があり ます。

オペレーティング システムをアップグレードする場合、Universal Shield は再インストールする必要があります。

Universal Shield ソフトウェアをインストールするには:

- 1. Universal Shield CD をご使用の CD-ROM ドライブに挿入します。Universal Shield インストレーショ ン ウィザードが自動的に開始されます。
 - インストレーション ウィザードが開始されない場合、インストレーション CD のルート ディレクトリにある USHILED.EXE を実行します。
 - インストレーション ファイルを Web サイトから入手した場合、ダウンロードしたフォルダにある USHIELD.EXE ファイルをダブルクリックし実行します。
- 2. インストレーション ウィザードのウェルカム画面が表示され、Next ボタンをクリックしてインストレーションを進めます。

programs before running this Setup program. Click Cancel to quit Setup and close any programs you have running. Click Next to continue with the Setup program. WARNING: This program is protected by copyright law and international treaties. Unauthorized reproduction or distribution of this program, or any portion of it, may result in severe civil and criminal penalties, and will be prosecuted to the maximum extent possible under law.		Welcome to the Installation Wizard Welcome to the Universal Shield Setup program. This program will install Universal Shield on your computer. It is strongly recommended that you exit all Windows
WARNING: This program is protected by copyright law and international treaties. Unauthorized reproduction or distribution of this program, or any portion of it, may result in severe civil and criminal penalties, and will be prosecuted to the maximum extent possible under law.		programs before running this Setup program. Click Cancel to quit Setup and close any programs you have running. Click Next to continue with the Setup program.
Unauthorized reproduction or distribution of this program, or any portion of it, may result in severe civil and criminal penalties, and will be prosecuted to the maximum extent possible under law.		WARNING: This program is protected by copyright law and international treaties.
	Installation Wizard	Unauthorized reproduction or distribution of this program, or any portion of it, may result in severe civil and criminal penalties, and will be prosecuted to the maximum extent possible under law.

- 3. ソフトウェアライセンス合意書をお読みください。合意書の内容をスクロール バーまたは Page Down キーを使って、最後まで読んでください。
- 4. ソフトウェア ライセンスの内容に同意したら、Yes を、しない場合は No をクリックしてソフトウェアの使用を拒否します。ソフトウェアは何もインストールすることなく終了します。

Lic	:ense Agreement Please read the following license agreement carefully.	5
Plea	ase closely read the following license agreement. Do you accept all the terms of the I ense agreement?	following
ソフ	フトウェア ライセンス	
Un	iversal Shieldをご利用になる前に、このライセンス同意書をよくお読みくだ	さい。
1.	このソフトウェアライセンス同意書(以下「同意書」という)は、エンドユー るお客様とソフトウェアの製作者との間で締結される法的契約になります ソフトウェア(Universal Shield)をお使いになる、またはお客様のコンピュー たは他種メディア)に保存することで、本同意書に合意しているとみなされ オ	げであ F。本 -タは いま
Eve	Yes, Lagree with all the terms of this license agreement restrike Software	
	<back next=""></back>	Cancel

5. インストレーション処理の一部として、Universal Shield のパスワードの入力の問い合わせがあります。 パスワードを設定して、他人からの Universal Shield ソフトウェアの利用を保護することをお勧めしま す。インストレーション後、**セキュリティ〉パスワード**の変更メニュー オプションを使って、このパスワ ードを設定することもできます。

'assword Required Please enter the password to proc	eed with the Universal Shield installation.
you would like to password-protect th assword and confirm it. You can also	nis program running and uninstalling, please enter a activate this option later when installation is complete.
°assword:	
Confirm password:	

- Universal Shield のパスワードをインストレーション中に設定するには、パスワード情報を Password テキスト ボックスに入力してください。同じパスワード情報をConfirm password テキスト ボックスにも入力します。Universal Shield ソフトウェアでは、同じパスワードを両方 に入力し、入力間違いがないことを確認する必要があります。より詳細情報は、<u>"パスワード</u> 設定について"ページ 47を参照してください。パスワードを入力したら、Next をクリックして ください。
- Universal Shield パスワードを後で設定する場合、Universal Shield パスワード画面で何も入力しないで、Next をクリックして続行してください。
- 6. Next をクリックして Universal Shield をデフォルト位置にインストールします。Universal Shield を別 の位置にインストールしたい場合は、Browse ボタンをクリックして任意の位置を選択し、Next をクリ ックしてください。

- 7. インストレーションの設定に関する概要が表示されます。Next をクリックしてソフトウェアをインスート ルしてください。進捗バーがインストレーションの進捗を表示します。
- 8. 問い合わせがあったら、Next をクリックしてください。
- 9. インストレーション処理の最後に、システムを再起動するための問い合わせがあります。はじめて Universal Shield をお使いになる場合、ご使用のシステムを再起動することをお勧めします。

versal Shield setup	
Computer Restart Installation procedure needs to restart your system to application.	o configure the installed
Some components were not installed completely. For finis your computer.	shing installation it is necessary to reboot
Yes, reboot my computer now	
C No, I will reboot my computer later	
Everstrike Software	
	Next > Cancel

10. コンピュータが再起動されたら、スタート > プログラム > Universal Shield アイコンをクリックして、またはウィンドウズ デスクトップ上の Universal Shield ショートカットをダブルクリックして Universal Shield ソフトウェアを手動で実行してください。

Universal Shield の登録

注意: Universal Shield を購入したら、登録キー(Registration Key)が送られます。この番号を安全 に保管してください。この番号は、ソフトウェアを再度インストールする場合やテクニカル サポートを受け る場合に必要になります。

はじめてインストールすると、Universal Shieldは、登録モードになります。ソフトウェアは、30日のトライアル版として期限切れで無効化されるまで利用することができます。

お使いのソフトウェアが無効化されないように、また未登録通知画面を解除するために、使用中の Universal Shield に入手した登録キーを適用してください。

パッケージ版の Universal Shield を購入された場合、登録コードはユーザガイドのカバーにあります。 オンラインで購入された場合、購入確認電子メールにて入手することになります。

登録キーをまだ入手していない場合、以下を参照して購入することができます。<u>"Universal Shield サポ</u> <u>ート"ページ 48</u>

Universal Shield を登録するには、2 つの方法があります。

- 1. ソフトウェアの実行時に Universal Shield を登録することができます。
 - a. 必要に応じて Universal Shield ソフトウェアをスタート > プログラム > Universal Shield をクリックして実行してください。
 - b. 今日のヒントが表示されたら、それを閉じてください。
 - c. Universal Shield ウィザードが表示されたら、キャンセルをクリックして閉じてください。
 - d. ツールバーで、**ヘルプ**をクリックしヘルプメニューを開き、登録をクリックします。

	∧,µ: ❷	ブ	Otrl + F1			
2 🗙 🧔	۷	ヘルノ	Utri + F1			
扁裝 削除 1日			Ch:40 + E1			
			Shift + FI		1	.
	Q	ビントー	ţċ	削除	可視	暗号化
		購入する				
		登録				
		バージョン情報				
			構入する 登録。 バージョン情報	購入する 登録 パージョン情報		「 購入する 登録。 バージョン/俳報

2. または、Universal Shield の登録は、ソフトウェアの終了時に行えます。

- a. Universal Shield が実行されていたら、ソフトウェアの終了時に Universal Shield を登録 することができます。
- b. 登録ボタンをクリックしてください。
- 3. いずれの方法でも、登録ダイアログボックスを開くことができます。
- 登録ダイアログボックスで、有効な登録キーをコード内のハイフンに注意して入力してください。
 登録キーは、大文字小文字を区別します。(追加情報は <u>"Universal Shield サポート" ページ 48</u>および <u>"今すぐ購入" ページ 44</u>を参照してください。)

登録キーを入力し、OKボタンを押すとアクティブになります。

- 5. 登録キーを入力すると、OK ボタンがアクティブになります。
- 6. OK を押して、Universal Shield を再起動するためのメッセージ ボックスを閉じます。
- 7. Universal Shield を再起動するには、ファイル > 終了 をクリックしてソフトウェアを終了し、再度 起動します。
- 8. 間違った登録キーが入力されると、再度登録キーを入力するよう問い合わせがあります。



9. 正しい登録キーが入力されると、評価版が Universal Shield タイトルバーに表示されなくなります。

はじめに

このセクションでは、Universal Shield インタフェースよびメニューについて簡単に説明しています。 Universal Shield の機能に関するより詳細についての説明は、チュートリアルおよびメニューを参照して ください。<u>"ウィザードの使い方" ページ 14</u> および <u>"Universal Shield メニューとオプション" ページ 32</u>を 参照してください。

Universal Shield インタフェース

Universal Shield のインタフェースは、直感的で使いやすくデザインされています。Universal Shield イン タフェースに関する詳細情報は <u>"ウィザードの使い方" ページ 14</u> および <u>"Universal Shield メニューとオ</u> <u>プション" ページ 32</u> を参照してください。



メニュー

よく使われるメニュー セクションは、ワンクリック アクセスできるようにツールバーにもボタンとして設置されています。

ファイル

最も重要な、ファイルメニューでは、いくつかのキーとなるタスクを設定するための Universal Shield ウィザードへのアクセスを提供します。ファイルメニューによりウィンドウズ オペレーティングシステムや特別なシステム フォルダを保護するための設定が行えます。

編集

追加情報は、<u>"ファイル"ページ32</u>を参照してください。 編集メニューでは、選択されたオプジェクトのプロパティを表示、オブ ジェクトのコピーと貼り付け、オブジェクトの検索を行うことができま す。

追加情報は、<u>"編集"ページ35</u>を参照してください。

暗号化	暗号化メニューでは、ファイルの暗号化や複合化、ファイルを暗号化 して保護するための暗号化ウィザードへのアクセスを提供します。
	追加情報は、 <u>"暗号化" ページ 36</u> を参照してください。
セキュリティ	セキュリティメニューでは、プロテクト、セキュリティ、およびオブジェクトの可視状態のオン/オフの切り替えが行えます。さらに、このメニューでは、Universal Shield にアクセスするためのパスワードの作成、変更および削除が行えます。
オプション	追加情報は、 <u>"セキュリティ" ページ 40</u> を参照してください。 オプション メニューでは、Universal Shield インタフェース全体を制御 するための設定が行えます。プロテクションのオン/オフ、プログラム 画面の位置、フォントおよび言語の設定、および Universal Shield を 制御するためのホットキーを設定することができます。
ヘルプ	追加情報は、 <u>"オプション" ページ 41</u> を参照してください。 ヘルプ メニューでは、オンライン ヘルプへのアクセスや、Universal Shieldの登録が行えます。Shift+F1 を押すことでオンライン ヘルプ を開くこともできます。
	追加情報は、 <u>"ヘルプ" ページ 43</u> を参照してください。

多く使われるメニュー セクションは、ワンクリックアクセスのためにツールバーのボタンにも設置されてい ます。プログラムのある機能へのクイックアクセスは、ビルトインされたショートカットキーからも行えます。 関連するキーの組み合わせは、各機能のプログラムメニューリスト横に表示されています。ショートカッ トキーを使用するには、Ctrlキーを押し、表示されているキーをクリックし、両方のキーを離します。(キ ーを同時に離す必要はありません、両方のキーを同時に押すことが重要です。)

プロテクション	プロテクション ボタンは、ファイル > オブジェクトのプロテクトへの ショートカットです。 追加情報は、 <u>"オブジェクトのプロテクト" ページ 32</u> を参照してく ださい	
ウィザード	ウィザード ボタンは、ファイル > Universal Shield ウィザードへのシ ョートカットです。	
	追加情報は、 <u>"Universal Shield ウィザード" ページ 34</u> を参照してく ださい。	049-1
編集	編集ボタンは、 編集 > プロパティ (Ctrl+E) へのショートカットです。	》 纪世
	迫加須報は、シロハワイ・ハーン30を参照してくたさい。	うまた
削除	削除ボタンは、編集 > 削除 (Ctrl+R) へのショートカットです。	× 削除
信頼	追加情報は、 <u>"削除" ページ 35</u> を参照してください。 信頼ボタンは、セキュリティ > 信頼されたプロセス (Ctrl+P)へのショ ートカットです。	读 信頼
ロッカ/アンロッカ	追加情報は、 <u>"信頼されたプロセス" ページ 40</u> を参照してください。	
-,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	ロック/アンロック ボタンは、 セキュリティ > プロテクトの切り替 え (Ctrl+Windows キー)へのショートカット キーです。	פיים

追加情報は、<u>"プロテクションの切り替え"ページ 40</u>を参照してください。

注意: 戻るボタンをクリックして Universal Shield ウィザードの前の手順に戻り、入力や選択を変更することができます。

Universal Shield は、いつくかの一般的なタスクを簡単に迅速に実行するためのウィザードを提供しています。

- <u>"ファイルやフォルダを隠すには" ページ 14</u>
- "隠したファイルやフォルダを表示するには"ページ 17
- "リードのみ許可アクセスを設定するには"ページ 18
- "ファイルを暗号化するには"ページ 20
- "ファイルを複合化するには"ページ 23
- "システムファイル、フォルダおよび設定を保護するには"ページ 25
- "プロテクト設定の変更"ページ27
- <u>"Universal Shield ソフトウェアをパスワード保護するには"ページ 27</u>
- "ファイルマスクを使って複数のファイルを選択するには"ページ28
- "信頼されたプロセスを設定するには"ページ 30
- <u>"ホットキーを設定するには"ページ30</u>
- "ステルスモードを使用するには"ページ31

ファイルやフォルダを隠すには

重要!: Windows システム ファイルやフォルダを隠さないでください。Windows で必要とされるファイル を隠し、Windows がそれを見つけられない場合、Windows は不安定になり、データの損傷または喪 失を起こすことになります。、Windows および、WinNT フォルダ内のファイルやサブフォルダがこれに相 当します。

Universal Shield のウィザードを使って、オブジェクト (ファイル、フォルダ、ファイルグループ)を簡単に隠 すことができ、誰からもその Windows のオブジェクトを見ることをできなくします。

注意:現在表示中のファイル、またはファイルを持つフォルダを隠した場合、Windows エクスプローラの 現在の表示をリフレッシュする必要がある場合があります。これは、Windows デスクトップ上のフォルダ でも同様です。

- 必要に応じて、Universal Shield ソフトウェアをスタート > プログラム > Universal Shield を選択 し Universal Shield アイコンをクリック、または Windows デスクトップにある Universal Shield ショ ートカットをダブルクリックして起動します。
- 2. Universal Shield ウィザードが自動的に開始されていない場合、ウィザードボタンをクリックしま す。Universal Shield ウィザードが開始されます。

3. ファイル、フォルダやディスクを隠します。を選択します(ディスクの隠蔽は、Windows NT, 2000, XP および 2003 Server でのみ有効です)。

Universal Shield Wizard - Step 1	of 4 🗙
	Universal Shield ウィザードへようこそ Universal Shield ウィザードはご使用のデータを隠したり、特定のデータ へのアクセス権限の設定や、ファイルの暗号化、ユーザのシステム フォ ルダやウィンドウズの設定ファイルへのアクセス制限を実現します。
	 ファイル、フォルダやディスクを隠します。 隠されたフォルダはエクスプローラ やその他のプログラムからは見えなくなります。
Universal Shield	○ 選択されたオブジェクト(ご読込みのみ"アクセス権限を設定する(ユーザ はあなたのファイルを消去したり、変更できなくなります)
	○ 選択されたファイルを暗号化する
Truly rock-solid protection!	○ セキュリティ トリック・ユーザのシステム フォルダやブライベート フォルダく マイドキュメント、お気に入り、デスクトップ、履歴)へのアクセスを制限す る
	<< 戻る 次へ >> キャンセル(C)

- 4. 目的のオプションを選択したら、次へをクリックします。ウィザードはファイルやフォルダの設定を 進めます。
- 5. 隠したいオブジェクトを選択します。例えば、Microsoft Word (*.DOC) ファイルを隠したい場合は、ファイルを隠しますを選択します。

niversal Shield Wizard - Step 2 of 4		×
オブジェクトを隠す		×
コンピュータ上のあらゆるファイル、フォルダ、およびディ ようなシステム関連のファイルやフォルダ、ディスクを隠っ 作しなくなる可能性があります。 何を隠しますか?	スクを隠すことができますが、Windowsフォル すことはお薦めできません。システムが正しく	ダの 動
● ファイルを隠します		
C ディスクを隠します		
○ マスクを使って複数のファイルを隠します		
	<<戻る (次へ>>) キ	キンセル(()

- 6. 次へをクリックします。
- 7. 隠したいファイルを選択します。

- a. リストに追加をクリックします。
- b. ファイル選択ダイアログ ボックスでは、目的のファイルを参照してください。テストのため に、重要でないファイルまたは削除しても問題のないファイルを作成し、選択してくださ い。
- c. ファイルを見つけたら、それをクリックして選択します。**開く**をクリック(またはファイルをダ ブルクリック)します。選択したファイルが Universal Shield ウィザードウィンドウに表示さ れます。



- d. 必要であれば、リストに追加を使って、さらにファイルを選択します。
- e. ファイルの追加が完了したら、次へをクリックします。
- f. 完了をクリックしてウィザードを終了します。
- 8. Universal Shield ウィンドウでは、隠されるファイルが表示されています。
- 9. 隠しプロパティを設定するには、プロテクションを**有効**にする必要があります。アン ロック ボタンをクリックします(ロック ボタンは、ロックされたアイコンで表示されま す。ボタンを再度クリックすると、プロテクションは無効に戻り、アンロックが再度表 示されます)。ステータスバーはプロテクションが有効かどうかを表示しています。



10. ウィンドウには、可視ステータスー可視フィールドにバツ(×) マークがあると、ファイルが非可視であることを表し、チェックマーク(✔)は可視状態であることを表しています。



- 11. Windows エクスプローラ、またはマイコンピュータを使って、隠したファイルのある場所に移動 しーそれはもう表示されませんー確認してください。
 - 非可視に設定するとファイルは見えないままで、Universal Shield にリストされたままでプロテクションが有効化-ファイルを選択し、それを Universal Shield から削除すると、再びWindows で見られるようになります。
 - ファイルが Universal Shield にリストされていて、プロテクションが有効で非可視となって いる場合、Universal Shield を終了するとファイルは Windows で見えないままになりま す—Universal Shield を再度実行すると、ファイルは Universal Shield リストに残ってい ます。
 - ファイルの可視状態を変更したら、すでに開いている Windows エクスプローラまたはマイコンピュータなどをリフレッシュする必要がありますー可視状態の変更は、必ず開いている Windows でリフレッシュなしで表示されるとも限りません。そのため開いているウィンドウで表示->リフレッシュを行うまでファイルが表示されないことがあります。

隠したファイルやフォルダを表示するには

オブジェクト(ファイル、フォルダ、ファイル グループ)を表示または非可視モードを解除するには、 Universal Shield 内でそれを選択し、その後:

- ロックボタンをクリックして、プロテクションを無効化します。
- または、削除ボタンをクリックして、オブジェクトを Universal Shield のリストから削除します。
- または、プロテクションリスト内のエントリを右クリックし、プロパティを選択し、可視になるよう設定 を変更します。

オブジェクトを可視に変更した場合、開いているウィンドウは、**表示 > リフレッシュ**を実行して更新することを忘れないでください。

🧐 Universal Shi	eld v.3.3.0 (評	価モード)									X
ファイル 編集	暗号化	セキュリティ	オプシ	ヨン ヘルプ							
		2 編集	× 削除	读 信頼	2 D92						
# パス				917	うわセス	読込み	書き	削除	可視	暗号化	
1 C:¥重要書	類¥レポート.do	C		ファイル	アクセスなし	×	×	×	×	No	
Shift+F1を押して、	ヒントを表示					ז לסדי	ションは有	効です			
							\langle		ックさ	または肖	削除ツールバー ボ

リードのみ許可を設定するには

Universal Shield ウィザードを使って簡単にオブジェクト (ファイル、フォルダ、ファイルグループ)をリード オンリーに変更することで、他からは、ファイルやフォルダの中を変更することができなくなります。

- 必要に応じて、スタート>プログラム > Universal Shield を選択し、Universal Shield アイコンを クリック、または Windows デスクトップの Universal Shield ショートカットをダブルクリックして Universal Shield を起動します。
- 2. Universal Shield ウィザードが自動的に開始されていない場合、ウィザードボタンをク リックしてください。Universal Shield ウィザードが開始されます。



3. 選択されたオブジェクトに読込みのみアクセス権限を設定するを選択します。



4. 目的のオプションを選択したら、次へをクリックします。ウィザードがアクセス許可設定を進めます。

5. アクセス許可を設定したいオブジェクトを選択してください。例えば、Microsoft Word (*.DOC) フ ァイルを読み込みのみに設定し、他のだれも変更できないようにするには、ファイルに対して読 込みのみの権限を与えるを選択します。

Universal Shield Wizard - Step 2 of 4	×
読込みのみアクセス権限の設定	×
コンピュータ上のあらゆるファイル、フォルダを隠すことができますが、Windowsフォルダのようなシス 関連のファイルやフォルダ、ディスクを隠すことはお薦めできません。システムが正しく動作しなくな 能性があります。 どのオブジェクトに読込みのみアクセス権限を与えますか? ・ ファイルに対して読込みのみ権限を与える ・ フォルダに対して読込みのみ権限を与える ・ マスクを使って複数のファイルに読込みのみ権限を与える	テム る可

- 6. 次へをクリックします。
- 7. 読込みのみのアクセスを適用したいファイルを選択します。
 - a. リストに追加をクリックします。 <-リストに追加
 - b. ファイル選択ダイアログボックスで、目的のファイルを参照します。テストのために、重要 でない、または削除しても問題にならないファイルを作成し、選択します。
 - c. ファイルを見つけたら、それを選択します。 **開く**をクリック(またはファイルをダブルクリック)します。 選択されたファイルは、Universal Shield ウィザード ウィンドウに表示されます。

versal Shield Wizard - Step 3 of 4 読込みのみアクセス権限の設定		苶
読込みのみアクセス権限を与えたいオブジェクトをリ するために、リストに追加ボタンを押してください。エ Shield ウィザードにドラッグ&ドロップして追加するこ	ストにご自加してください。オブジェ ウスプローラから、ファイルやフォノ ともできます。	クトをリスト(こ)追加 レダをUniversal
C;¥重要書類¥レポート.doc		(-リストにご言加) 肖耶奈 -> 全て肖耶奈
	<< 戻る 次へ	>> * *`/17///C

- d. 必要に応じて"リストに追加"を使ってさらにファイルを追加することができます。
- e. ファイルの追加が完了したら、次へをクリックします。
- f. ウィザードを閉じるには、完了をクリックします。
- 8. Universal Shield ウィンドウには、読込みのみを設定したファイルが表示されています。
- 9. 読込みのみ許可を設定するには、プロテクションを**有効**にする必要があります。アン ロックボタンをクリック (ロックボタンをクリックしないでください)してください。ステータ スバーにプロテクションが有効であるかどうかが表示されています。



10. ウィンドウには、アクセス許可がどのように設定されているかが表示されています。--**チェックマ** --**ク**がアクション(読込み)が許可されていることを、**バツ**は他のアクション(書き込み、削除、編集) が許可されていないことを表しています。

🥶 Universal Shield v.3	.3.0 (評価モード)								
ファイル 編集 暗	号化 セキュリ	ティ オブシ	ション ヘルプ						
ליי לודלי לבסלים לי]	★ 削除	读 信頼	<mark> </mark> ביים					
# パス			タイプ	アクセス	読込み	書き	削除	可視	暗号化
1 C:¥重要書類¥レオ	∜—h.doc		ファイル	カスタム	アクセス 📔 🖌	×	×	~	No
Ready					לפל 🔂	アションは有	効です		
					\ _U	niver	sal Sl	hield i	は各オフ

11. Windows エクスプローラ、またはマイコンピュータでプロテクトしたファイルに移動し、それを削除や上書きします。-できません。Microsoft Wordを使って開くと、変更し、別の名前で保存することができますが、元のファイルは変更することはできません。

ファイルを暗号化するには

Universal Shield ウィザードを使って1つまたはそれ以上のファイルを簡単に暗号化することができます。 暗号化されているファイルはスクランブル化されていて、他からは開いたり、読んだり、使用、またはデー タを表示したりすることはできません。例えば、大切な情報を含んだ Microsoft Word ドキュメントを暗号 化して誰かにメールする場合を考えます。注意:複合化するマシンにも Universal Shield がインストール されている必要があります (Universal Shield のトライアル版をインストールしていても可能です)。もし電 子メールが横取りされたとしても、Microsoft Word 添付は、複合化のためのパスワードを知らない人には 利用不可能なもので、役に立ちません。

注意: 暗号化するために選択したアイテムは、複合化されるまで暗号化されたままです。プロテクションを無効化しても、またUniversal Shield ウィンドウ リストから削除しても暗号化されたまま残ります。詳細は、<u>"ファイルを複合化するには"ページ 23</u>を参照してください。

- 必要に応じて Universal Shield ソフトウェアをスタート > プログラム > Universal Shield を選択し Universal Shield アイコンをクリックするか、Universal Shield ショートカットを Windows デスクトップ からダブルクリックして起動します。
- 2. Universal Shield ウィザードが開始されていない場合、ウィザード ボタンを押してください。 Universal Shield ウィザードが開始されます。



3. 選択されたファイルの暗号化するを選択します。



- 4. 目的のオプションを選択したら、次へをクリックします。暗号化設定処理のためのウィザードが開始さ れます。
- 5. 暗号化したいオブジェクトを選択します。 例えば、Microsoft Word (*.DOC) を暗号化し、誰にも利用 できないようにするには、ファイルの暗号化を選択します。

Universal Shield Wizard - Step 2 of 5		×
オブジェクトを暗号化する	苶	
あなたのデータの保護を100%保障するために、暗号化することができます。暗号化はデータをデ に入れて持ち運ぶような場合に便利です。	425	
何を暗号化しますか?		
◎ ファイルを暗号化する		
<< 戻る (法人 >>>) キ	ャンセル(⊆	2

- 6. 次へをクリックします。
- 7. 暗号化したいファイルを選択します。
 - a. リストに追加をクリックします。 <-リストに追加
 - b. ファイル選択ダイアログボックスから、目的のファイルを参照して見つけ出します。テストのために、重要でない、また削除しても問題にならないファイルを選択してください。
 - c. ファイルを見つけたら、それをクリックして選択します。開く(またはファイルをダブルクリック)しま す。選択されたファイルは Universal Shield ウィザード ウィンドウに表示されます。

Universal Shield Wizard - Step 3 of 5	×
オブジェクトを暗号化する	
暗号化したいオブジェクトをリストに追加してください。。オブジェクトをリストに追加するために、 リストに 追加ボタンを押してください。 エクスプローラから、 ファイルやフォルダをUniversal Shield ウィザードにドラ ッグ& ドロップして3追加することもできます。	
C:半重要書*類¥レポート.doc 育印第-> 全て育り除	

- d. 必要に応じて、さらにファイルをリストに追加を使って追加することができます。
- e. ファイルの追加が完了したら、次へをクリックしてください。

Universal Shield Wizard - Step 4	of 5	×
暗号化の詳細		×
暗号化アルゴリズムを選択	、複合のために必要なパスワードを設定してくださ	56 %
暗号化アルゴリズム:	Blowfish	
パスワード:	****	_
パスワードの確認:	*****	_
	<<戻る 7	タート(5) キャンセル(5)

- f. 使用する <u>アルゴリズム</u> をドロップダウンリストから選択してください。
- g. <u>パスワード</u>を設定してください。暗号化されたファイルのデータを利用する必要のある人は、複合化するためのパスワードを知っている必要があります。
- h. スタートをクリックし、完了をクリックして選択したファイルの暗号化を実施了してください。
- i. **閉じる**をクリックしてウィザードを閉じます。
- 8. Universal Shield ウィンドウには、暗号化されたファイルが表示されています。

🮯 Universal Shield v.3.3.0 (評価モード)					_ 🗆 🗙
ファイル 編集 暗号化 セキュリティ オプション	ヘルプ				
	 ・ ・				
# パス	タイプ アクセス	読込み 書き	削除	可視	暗号化
1 C:¥重要書類¥レポート.doc	ファイル フルアクセス	1 1	~	-	Yes
Shift+F1を押して、ヒントを表示			効です		
			nivers	al Sh	ield は、
		ス	テータ	スを表	示してい

9. Microsoft Word または Adobe Reader など他のソフトウェアを使って、暗号化されたファイルで暗号 化されたファイルを開こうとすると、ファイルが開けないか、ファイルがスクランブル化されて利用でき ない状態で開かれます。

ファイルを複合化するには

暗号化を使って、データを第三者から保護することができます。しかし、暗号化されたデータを自分自身 で利用するには、Universal Shield で暗号化したパスワードでファイルを複合化する必要があります。

- 必要に応じて、スタート > プログラム > Universal Shield を選択し Universal Shield アイコンをクリッ クするか、Windows デスクトップから Universal Shield ショートカットをダブルクリックし Universal Shield ソフトウェアを実行します。
- 2. 複合化したいファイルが Universal Shield にリストされていない場合は、ファイルをリストに追加してください。

🮯 Universal Shield v.3.3.0 🕼	平価モード)						_ 🗆 🗙
ファイル 編集 暗号化	セキュリティ オプション	ノーヘルプ					
・ べいしつ こう	▶ × 編集 前除	 信頼 ロビ) יク				
# KZ		タイプ	アクセス	読込み	書き 削除	可視	暗号化
		\					
Ready				🔒 プロテクシ	/ョンは有効です		
							111
				\mathbf{N}			
				∖複	合化したい	ファイル	レはまだリン
				され	いていませ	ん。複合	化する前
				~~~	ルリフトナ	ていて	ぶなります
					- パニンヘト 9・	ことを	いのりより。

- a. Windows エクスプローラを開いて複合化したいファイルを探します。
- b. 複合化したいファイルを Windows エクスプローラから Universal Shield ウィンドウにドラッグ アン ドドロップします。

🞯 Universal Shield v	.3.3.0 (評価モード)								×
ファイル 編集 間	音号化 セキュリラ	ティ オプション	ンヘルプ						
	★ 1 - ド 編集	<b>米</b> 削形余	<b>读</b> 信頼 I	<b>2</b> שיר					
# パス			タイプ	アクセス	読込み	書き	削除 可初	1 暗号化	
Ready						ションは有効	ਦ ਭ		
					・ 目的の	つファイ	ルを Wi	ndows エク	דל
					Ե Uni	versal	Shield	ドロップしき	t

3. プロテクション リストに追加したファイルを簡単に複合化することができます。複合化したいファイル を右クリックし、複合化を選択してください。または、暗号化>複合化を選択します。Shift+click およ び/または Ctrl+click で複数のファイルを同時に複合化することができますが、複合化するファイル グループは、同じパスワードで暗号化されている必要があります。

Annversal Sinelu VSUO seria ( 197 ファイル 編集 暗号化 セキュリティ オブション	/ ^JL7	<u></u>				
クロテクション ワイサート 編集 削除	1言釈見 タイプ	アクセス	読込み   書き	削除	可視	暗号化
C:¥重要書相¥レボート.doc	×	オブジェクトのプロテクト コピー 削除 オブジェクトの検索 ファイルを暗号化する ファイルを積合化する	Ctrl + 1 Ctrl + ( De Ctrl + (		×	Yes
	2	プロパティ	Ctrl + I			

4. 暗号化パスワードをパスワードフィールドに入力し、スタートをクリックします。

		×
Blowfish	*	スタート(5)
*****		キャンセル(()
ル数	完了	
	Blowfish ******  /	Blowfish       *******       /******       //教<定了

5. 閉じるをクリックし、ダイアログボックスを閉じます。選択されたファイルが暗号化され、通常通りそれ らを表示したり利用したりできます。レポート.doc ファイルの暗号化属性は"No"になります。

#### システム ファイル、フォルダ、および設定を保護するには

Universal Shield ウィザードを使って、選択されたシステムファイル、フォルダおよび設定を簡単に保護 することができます。

- 必要に応じて、スタート > プログラム > Universal Shield を選択し Universal Shield アイコンをクリッ クするか、Windows デスクトップから Universal Shield ショートカットをダブルクリックし Universal Shield ソフトウェアを実行します。
- 2. Universal Shield ウィザードが開始されていない場合、ウィザード ボタンを押してください。 Universal Shield ウィザードが開始されます。



3. セキュリティトリックを選択します。

Universal Shield Wizard - Step 1	of 3	
	Universal Shield ウィザードへようこそ	
	Universal Shield ウィザードはご使用のデータを隠したり、特定のデータ へのアクセス権限の設定や、ファイルの暗号化、ユーザのシステム フォ ルダやウィンドウズの設定ファイルへのアクセス制限を実現します。	
	<ul> <li>ファイル、フォルダやディスクを隠します。隠されたフォルダはエクスプローラ やその他のプログラムからは見えなくなります。</li> </ul>	
Universal	C 選択されたオブジェクトに"読込みのみ"アクセス権限を設定する(ユーザ はあなたのファイルを消去したり、変更できな(なります)	
Shield	○ 選択されたファイルを暗号化する	
3	<ul> <li>セキュリティトリック・ユーザのシステムフォルダやプライベートフォルダく マイドキュメント、お気に入り、テスクトップ、履歴)へのアクセスを制限する</li> </ul>	
Truly rock-solid protection!		・ ここちわりいわし ブ
	<< 戻る 次へ >> キャンセル(S)	たします。

- 4. 目的のオプションを選択したら、次へをクリックします。ウィザードは、ファイルやフォルダを隠すための設定を進めます。
- 5. プロテクトしたいオブジェクトを選択します。Universal Shield では、マイドキュメント、お気に入り、履 歴、コントロール パネル、日付/時間設定、および Windows デスクトップを隠すことができます。

Universal Shield Wizard - Step 2 of 3	×
セキュリティ トリック	×2
以下で提供されるセキュリティ トリックを利用して、ウィンドウズのシステム設定をプロテクトし、個人特 報へのアクセスを禁止できます。	<b>†</b>
<ul> <li>マイトマエスノトへのアクセスを禁止する</li> <li>✓ 病歴へのアクセスを禁止する</li> </ul>	
<ul> <li>コントロールパネルへのアクセスを禁止する</li> <li>日付と時刻の変更を禁止する</li> </ul>	
▶ デスクトップの変更を禁止する	
<<戻る _ 次へ >> _ キャン	1211(2)

- 6. 次へをクリックし、完了で選択したアイテムのプロテクトを適用します。
- プロテクトされたこれらのアイテムは、開くこともアクセスすることもできません。例えば、(これらの保護 をカスタマイズ、編集することができます。より詳細情報は、<u>"プロテクト設定を変更するには"ページ</u> 27)を参照してください。
  - マイドキュメントをプロテクトすると、マイドキュメント内のすべてのフォルダとファイルへのアクセス できなくなります。

注意: Web ブラウザを開いたまま、お気に入りリストのプロテクションを無効(ロック ボタンをクリックして) にし属性を変更すると、変更を反映するために、ブラウザを閉じて、再開する必要があります。

- お気に入りをプロテクトすると、ブラウザ内にお気に入りリストが利用できなくなります。
- 履歴を選択すると、インターネット履歴が利用できなくなります。
- コントロール パネルを選択すると、コントロール パネル内のいずれにもアクセスできなくなります。
- 日付/時刻を選択すると、システム時計と日付がアクセスできなくなります。
- Windows デスクトップを選択すると、デスクトップのレイアウトがプロテクトされ、デスクトップ上の ファイルやフォルダ、およびショートカットなどの名前や詳細は変更できなくなります。

プロテクトしたいアイテムが Universal Shield の保護リストに表示されています。以下の条件の場合は、 プロテクトされたままになります。

- アイテムが Universal Shield にリストされている場合
- アイテムのプロテクションが有効の場合(アンロックボタンをクリック)

以下の場合、プロテクトは無効です。

- アイテムが削除または Universal Shield から削除された場合(アイテムを選択し削除ボタンをクリック)
- アイテムのプロテクションが無効化されている場合(ロックボタンをクリック)

プロ	テクション ウィザード 編集   )除   信頼		190 	[ += 1		1 2000		
Ŧ	CVD as used to a Cathle as VA deviation has LISED DI MC	<u>ダイノ</u> ママカ	<u>ー アリセス</u>	「読込み」	書さ	月川P示		<u>暗亏1</u>
2	C:#Documents and Settings#Administrator.USER-RLMC	マスク	カスタムアクビス			×	×	No
-	C: ¥Documents and Settings¥Administrator. USER-RI MC	マスク	カスタムアクセス	X	1	X	X	No
È	C:¥WINNT¥Svstem32¥rundll32.exe	ファイル	アクセスなし	X	X	X	X	No
5	C:¥Documents and Settings¥All Users.WINNT¥スタート	マスク	カスタム アクセス	~	X	×	-	No
5	C:¥WINNT¥System32¥timedate.cpl	ファイル	アクセスなし	×	×	×	×	No
7	C:¥Documents and Settings¥Administrator.USER-RLMC	マスク	カスタム アクセス	1	×	×	-	No
3	C:¥Documents and Settings¥All Users.WINNT¥デスクト	マスク	カスタム、アクセス	1	×	×	1	No

リストされたすべてのアイテ ムのプロテクトが有効

#### プロテクト設定を変更するには

Universal Shield 内のアイテムに割り当てられたプロテクト設定を編集およびカスタマイズすることができます。例えば、選択されたオブジェクトは既存のプロテクションに加えて、書き込みや可視状態のプロテクションをオフにすることができます。

#### UNIVERSAL SHIELD ソフトウェアをパスワード保護するには

はじめて Universal Shield をインストールする場合、ソフトウェアを保護するためのパスワードを入力する よう問い合わせがあります。Universal Shield のパスワード保護には以下の意味があります。

- パスワードを知っている人のみが Universal Shield をアンインストールすることができます。 Universal Shield インストレーションをパスワード保護することで、ご使用のファイルやフォル ダを Universal Shield アンインストールすることでプロテクションが解除されることを保護する ことができます。誰かが Universal Shield をアンンストールしようとした場合、続行する前に、 パスワードを入力するように問い合わせがあります。
- 推奨されるように、Universal Shieldをパスワード保護を有効にした場合、ソフトウェアをアク セスしようとすると、パスワード入力が必要になります。Universal Shieldをパスワード保護す ることで、権限のない人がUniversal Shield ソフトウェアを使ってファイルやフォルダへの保 護を解除することを回避することができます。

インストール時に Universal Shield をパスワード保護しなかった場合でも、いつでも設定が可能です。

- 1. セキュリティンパスワードの変更をクリックします。
- 2. パスワード フィールドにパスワードを入力します。詳細情報は、<u>"パスワード設定"ページ 47</u>を参照 してください。
- 3. 確認フィールドにパスワードを再度入力して確認し、OKをクリックします。
- 4. オプションをクリックし、パスワードプロテクトを選択して設定したパスワードでの保護を有効にします。

ファイル	編集 暗号化	セキュリティ	オフ	ション ヘルプ							
<del>•</del> •		7 >		常にトップに表示		Ctrl + A					
プロテクション # パス	/ ウィザード	編集創		終了後にプロテクト ウインドウズ開始時につ	パロテクトする		込み	書き	首北余	可視	暗号化
C:¥Doo	cuments and Settir	ngs¥Administrator		パフロード プロテカト	077130		×	~	X	~	No
C:¥Doo	cuments and Settir	ngs¥Administrator	Ľ	122 1.2020			×	-	×	×	No
C:¥Doo	cuments and Settir	ngs¥Administrator		ホットキーの設定			X	1	×	×	No
t C:¥WI	NNT¥System32¥ru	ndll32.exe		7+1		Ctrl + T	X	×	×	×	No
5 C:¥Doo	cuments and Settir	ngs¥All Users.WIN				Ourier	1	×	×	1	No
6 C:¥WI	NNT¥System32¥tir	nedate.cpl		言哉			×	$\times$	×	X	No
C:¥Doo	cuments and Settir	ngs¥Administrator	.USEF	R-RLMCマスク	<u> </u>	ッセス	1	×	×	-	No
C:¥Doo	cuments and Settir	ngs¥All Users.WIN	INT¥5	デスクト マスク	<u> </u>	ックセス	1	×	×	1	No
hiff+F1左细	して、ビントを表示						<b>3</b> □≂λ	小山有	oh7∾7t		

#### ファイルマスクを使って複数のファイルを選択するには

Universal Shield では、ファイル マスクを使うことでより簡単に複数のファイルを選択することができます。 マスクを使ってファイルを選択するには、ツールバーのプロテクション > マスク ドロップダウンを選択、または Universal Shield ウィザードを利用します。

注意: このセクションでは、ファイルを選択するためにマスクを利用する方法について説明します。その他、オブジェクトを隠す方法の例は、<u>"ファイルやフォルダを隠すには"ページ 14</u>を参照してください。

- 必要に応じて、スタート > プログラム > Universal Shield を選択し Universal Shield アイコンをクリッ クするか、Windows デスクトップから Universal Shield ショートカットをダブルクリックし Universal Shield ソフトウェアを実行します。
- 2. Universal Shield ウィザードが自動的に開始されていない場合、ウィザードボタンをクリックしてください。Universal Shield ウィザードが開始されます。
- 3. ファイル、フォルダ、またはディスクを隠すを選択します (ディスクは、Windows NT, 2000, XP および 2003 Server でのみ隠すことができます)。

Universal Shield Wizard - Step 1	of 4	
	Universal Shield ウィザードへようこそ Universal Shield ウィザードはご使用のデータを隠したり、特定のデータ へのアクセス権限の設定や、ファイルの暗号化、ユーザのシステムフォ ルダやウィンドウズの設定ファイルへのアクセス制限を実現します。	
Universal	<ul> <li>ファイル、フォルダやディスクを隠します。隠されたフォルダはエクスプローラ やその他のブログラムからは見えなくなります。</li> <li>選択されたオブジェクトにご読込みのみ、マクセス権限を設定する(ユーザ はあなたのファイルを消去したり、変更できなくなります)</li> </ul>	
Shield	<ul> <li>         ご 選択されたファイルを暗号化する         <ul> <li>             セキュリティ トリック - ユーザのシステム フォルダやプライベー、フォルダ(マイドキュメント、お気に入り、デスクトップ、履歴)へのアクセスを制限する         </li> </ul> </li> </ul>	
Truly rock-solid protection!	<< 戻る 次へ >> キャンセル(C)	ここをクリクして遺

- 4. 目的のオプションを選択したら、**次へ**をクリックします。ウィザードは、ファイルやフォルダを隠すための設定を始めます。
- 5. 隠したいオブジェクトを選択します。例えば、Microsoft Word (*.DOC) ファイルを隠したい場合、マ スクを使ってファイルを隠しますを選択します。

ウィザード

Universal Shield Wizard - Step 2 of 4	×
オブジェクトを隠す	
コンピュータ上のあらゆるファイル、フォルダ、およびディスクを隠すことができますが、Windowsフォルダの ようなシステム関連のファイルやフォルダ、ディスクを隠すことはお薦めできません。システムが正しく動 作しなくなる可能性があります。 何を隠しますか? 〇 ファイルを隠します	
<ul> <li>フォルダを隠します</li> <li>ディスクを隠します</li> <li>マスクを使って複数のファイルを隠します</li> </ul>	
<<戻る 次へ >> キャンセル(C	<u> </u>

- 6. 次へをクリックします。
- 7. リストへ追加をクリックします。 <-リストに追加

注意: パス名を設定する場合、そのパス内のすべてのサブディレクトリに影響を与えることになります。 そのため、C:***.PDF**を設定すると、ご使用のコンピュータ内の C:****ドライブ上に存在しているフォルダ、 そのサブフォルダ内のすべての PDF ファイルに影響があります。

- 8. Universal Shield はファイルを選択するために使用するマスクを入力するとこを問い合わせます。マ スク条件に適合するすべてのファイルが選択されます。
  - a. 保護したいファイルを定義するためのパス名およびマスクを入力します。以下のワイルドカード をマスクの定義に使用します。

*-アスタリスク (*) は任意の長さの文字を表します。そのため *.DOC は、すべての DOC (Microsoft Word) ファイルを意味します。

このため、C:\MyFolder*.DOC は、MyFolder フォルダにあるすべての Microsoft Word ファイル を保護することになります。MyFolder フォルダのサブフォルダにあるすべての DOC ファイルも 保護されます。

マスク	? ×
ファイルをプロテクトするために"*"マーク	ОК
「二」と一緒にマスクをハノ」していたさ。1例:	キャンセル(の)
C:¥share file¥*.doc 🔹	

- b. OK をクリックします。次へ、完了をクリックし、選択したファイルの保護を完了します。
- 9. Universal Shield ウィンドウは非可視に設定したファイルを表示しています。

10. 非可視プロパティを設定するには、プロテクションを有効にします。 ロック ボタンをクリックします、ス テータス バーは、プロテクションが有効化どうかを表示しています。

#### 信頼されたプロセスを設定するには

信頼されたプロセスは、アプリケーション、またはソフトウェアに保護されたオブジェクトへのアクセスを許可します。信頼されたプロセスからは、何も隠されていない状態になります。アンチウィスル ソフトウェアが保護されたファイルをチェックしたり、バックアップ ソフトウェアがデータをアーカイブするために、いくつかのアプリケーションを信頼されたプロセスとして設定することを考慮する必要があります。

信頼されたプロセスをセットアップしたり、すでにある信頼されたプロセスリスト編集するには、以下の方法があります。

1. 信頼ボタンをクリックするか、セキュリティ>信頼されたプロセスをクリックします。



- 2. 信頼されたプロセス ダイアログ ボックス内で:
  - リストに追加をクリックし、新しく信頼られたプロセスを追加します。ソフトウェアに移動して選択します。
  - 削除をクリックして、選択されているプロセスをリストから削除します。Ctrl+click または Shift+click を使って、複数のプロセスを同時に選択することができます。
  - すべて削除するをクリックすると、すべてのプロセスがリストから削除されます。

信頼されたプロセスの選択	?×
プロセスリスト TEXPLORE.EXE	ок キャンセル( <u>C</u> ) ヘルプ(H)
ドーリスドに追加 前除 -> 全て前除する(L)	

3. OK をクリックして変更を適用します。

#### ホットキーを設定するには

ホットキーの利用は Universal Shield にとって不可欠です。それにより Universal Shield をステルス モードで実行することができます。ホットキーは、例えばあるキーの組み合わせを押すことで Universal Shield ソフトウェア実行を実行したりなど、タスク、またはプロセスをアクティブにするためのキーボードの組み合わせです。

ホットキーを設定するには:

- 1. オプション > ホットキーの設定をクリックします。ホットキー設定ダイアログが表示されます。
- 2. ホットキーを有効化チェックボックスを選択します。これにより Universal Shield でホットキーが使える ようになります。
- 3. Universal Shield ソフトウェアを実行するためのホットキーを定義します。このホットキーの組み合わせは、Universal Shield が終了していて Universal Shield ソフトウェアを開始するために使用されます。
  - a. Universal Shield を開くフィールドをクリックし、何も入力しないでください。
  - b. 代わりに、ホットキーに使用したいキーを押します。3つのキーを同時に使用することをお勧めします。その内の1つは、Shift、CtrlまたはAltキーのいずれかを使います。例えば、 Ctrl+Shift+1(+キーは、実際には押しません。+は、Ctrl,Altと1を同時に押すことを意味しています)。
  - c. その後、Universal Shield 一旦終了し、Ctrl+Shift+1 (または設定したホットキー)を押して Universal Shield ソフトウェアを実行します。

ットキーの設定	?>
<ul> <li>ホットキーを有効にする(E)</li> <li>プロテクション モードの変更時にパスワードを入力する(A)</li> <li>Universal Shield を開く: Ctrl + Shift + 1</li> <li>プロテクションの切り替え: Ctrl + Shift + T</li> <li>プロテクションを有効にする: Ctrl + Shift + E</li> <li>プロテクションを無効にする: Alt +  </li> </ul>	0K キャンセル(C) ヘルプ(H)
▶ プロテクション モードの変更を通知する:	

4. 必要に応じて、他のホットキーを設定してください。追加情報は、<u>"ホットキーの設定" ページ 42</u> を 参照してください。

#### ステルス モードを使用するには

ステルス モードでは、Universal Shield がインストールされていることは、すべてのユーザにとって非可 視になります。— Universal Shieldのためのデスクトップ ショートカット、スタート メニュー、およびプログラ ムフォルダはすべて非可視になります。このモードではホットキー機能を使ってUniversal Shield にアク セスすることになります(<u>"ホットキーの使い方" ページ 30</u> および <u>"ホットキーの設定" ページ 42</u>)を参照 してください)。

ステルス モードを使用するには:

1. セキュリティ>ステルス モードをクリックします。Universal Shield は、自動的に自分自身のプロセス をプロテクトし、プロテクションを有効にします。(ホットキーを何も設定しない場合、メッセージ ボック スが表示され、設定するホットキーの入力の問い合わせがあります。ホットキーの設定なしには、この機能は利用できません。)

- 2. オプションをクリックし、終了後にプロテクトおよび Windows 開始時にプロテクト を選択します。これ らにより Universal Shield を終了した時に、プロテクションを有効にしたり、Windows の起動時にすぐ にプロテクションが有効になます。
- 3. Universal Shield を閉じます(ファイル > 終了)。
- 4. ステルス モードをオフにするには、Universal Shield を実行し(ホットキーを使って)、セキュリティ> 可視モードをクリックします。詳細情報は、<u>"ステルス モード" ページ 41</u>を参照してください。

# Universal Shield メニューとオプション

注意: これらのメニュー オプションを使うには、"ウィザードを使うには"ページ 14 を参照してください。

Universal Shield では、以下のメニューが利用できます。

- <u>"ファイル" ページ 32</u>
- <u>"編集"ページ35</u>
- <u>"暗号化"ページ36</u>
- "セキュリティ" ページ 40
- <u>"オプション" ページ 41</u>
- "ヘルプ" ページ 43

グレイ表示されたメニューは選択できません。

# ファイル

ファイルメニューでは以下の機能が利用できます。

- <u>"オブジェクトのプロテクト" ページ 32</u>
- <u>"Universal Shield ウィザード" ページ 34</u>
- "セキュリティトリック" ページ 34
- "終了" ページ 35

## オブジェクトのプロテクト

オブジェクトのプロテクトでは、ドライブ、ファイル、またはマスクで定義された複数のファイルを保護する ことができます (<u>"マスクを使って複数のファイルを選択するには"ページ 28</u>を参照してください。)。

新規プロテクト ファイルの:	択 ? ×	
<b>*</b>	ファイルへのパスを選択:	
	含まれるファイルのプロテクト     アタセス	
フォルダ	<ul> <li>フルアなセス(E)</li> <li>アクセスなし(N)</li> <li>(隠しモード)</li> </ul>	
 7₹11/ ★.*]	<ul> <li>□ 読込み(R)</li> <li>□ 書き込み(W)</li> <li>□ 可視状態(V)</li> </ul>	
<b>マ</b> スク	OK         キャンセル(C)         ヘルブ(H)         まず、プロテクトしたいオブジェクトを選択します。	

オブジェクトのプロテクト使用するには:

- 1. オブジェクトをプロテクトする方法をクリックします。ドライブ(Windows NT, 2000, XP および 2003)、フ ォルダ、ファイル、またはマスク(複数のファイル)。
- 2. プロテクトしたいオブジェクトを参照(…) ボタンをクリックしてオブジェクトをブラウズするか、また はマスクを利用します。(参照(…) ボタンは、ファイルへのパス名入力フィールドの右にありま す。)
- 3. プロテクトしたいオブジェクトを選択したら、拒否や許可など目的のアクセス許可を設定します。アク セス可能なオプションは、どんなオブジェクトを選択するかに依存します。すべての種類のオブジェ クトですべてのオプションは利用できません。

ドライブ/パス/マスクを選択	プロテクトしたいオブジェクトの種類を選択したら、参照 (…) ボタンを
2	クリクし、オブジェクトのインスタンスを選択します(またはオブジェクト
3	または、マスクの選択)。

- 含まれるファイルのプロテクト ドライブと同様にフォルダ内のファイルをプロテクトすることもできま す。ドライブやフォルダのサブフォルダの内容もプロテクトされます。
- フル アクセスフル アクセスを選択すると、選択されたオブジェクトへのすべてのプロテクションが無効になります。
- アクセスなし アクセスなしを選択すると、非可視(非可視ステータス)を含む完全な プロテクションが有効になります。
- その他 その他では選択されたオブジェクトへどんなプロテクトを適用したり拒 否したりするかを選択します。目的の各許可へのチェックボックスを 選択します。- チェックは、誰もがその機能を実行できることを意味し ています。チェックボックスのチェックを解除することで誰もその機能 が実行できず、オブジェクトがその機能でプロテクトされていることを 意味します。

リード (R) リード チェックを選択すると、すべての人は選択されたオブジェクトを

	開くことができます。チェックボックスを解除すると、誰もこのオブジェ クトのデータを読むことができなくなります。
ライト (W)	ライト チェックボックスを選択することですべての人は選択されたオブ ジェクトを編集(書き込み)、変更やコピーを行うことができます。チェッ クボックスを解除すると、誰もこのオブジェクトを編集できなくなりま す。
削除 (D)	削除チェックボックスを選択することで、すべての人は、選択されたオ ブジェクトを削除することができます。このチェックボックスを解除する ことで誰からも削除できなくなります。
可視 (V)	可視チェックボックスを選択することで、すべてのオブジェクトは、誰 からもアクセスできなくなります。チェックボックスを解除することで、 表示されるようになります。

これらのプロテクト設定を維持するには:

- ファイルを Universal Shield メイン ウィンドウに残したままにします。
- プロテクションを有効にします ("プロテクションの切り替え" ページ 40)

#### UNIVERSAL SHIELD ウィザード

はじめてのユーザにとっては、これは最も簡単に Universal Shield を使ってご使用のシステムを保護する方法です。Universal Shield ウィザードを使って、ほとんどの作業が行えます。

- ファイル、フォルダおよびディスクを隠す
- 読込みのみのアクセス
- 選択したファイルの暗号化
- セキュリティトリックーマイドキュメント、お気に入り、デスクトップ、履歴、コントロールパネルおよびWindowsの日付と時間

より詳細情報は、<u>"ウィザードを使って"ページ 14</u>を参照してください。

#### セキュリティトリック

セキュリティトリックもまた Universal Shield ウィザードを使うことで1つのダイアログ ボックスで、ご使用の Windows システムをプロテクトすることができます。以下のプロテクションが利用可能です。

- マイドキュメント
- お気に入り
- 履歴
- コントロールパネル

- 日付と時間設定
- デスクトップ

より詳細情報は、<u>"システム ファイル、フォルダ、および設定をプロテクトするには"ページ 25</u>を参照してください。

## 終了

**終了**を使って、Universal Shield ソフトウェアを終了します。ソフトウェアを終了する前に、ホットキーの設定で終了時にプロテクトすることを考えてください(<u>"ホットキーを設定するには"ページ30</u>を参照)、 ("終了時にプロテクト"ページ42を参照)。

# 編集

編集メニューでは、以下の機能が利用できます。

- "コピー" ページ 35
- "削除" ページ 35
- <u>"すべて削除" ページ 36</u>
- "検索"ページ36
- "オブジェクトの検索" ページ 36
- "プロパティ"ページ 36

#### コピー

**コピー**では、Universal Shield メイン ウィンドウ リストからアイテムを Windows クリップボードにコピーしま す。そこから、スプレッドシート ソフトウェア、文章作成ソフトウェア、その他テキスト エディタなどに貼り付 けできます。例えば、これを使って Universal Shield ソフトウェアでプロテクトしているオブジェクトをスプ レッドシート形式で保存することができます。

コピーを使うには:

Universal Shield ウィンドウから目的の行を選択します。

編集 > コピー をクリックします(または Ctrl+C を押す)。

コピーしたデータを貼り付けるソフトウェアを開き、データを貼り付けます (Ctrl+V)。

#### 削除

削除を利用して、選択されたアイテムを Universal Shield メイン ウィンドウ リストから削除しま



す。この方法で削除を利用することで、プロテクト中のファイル解除することができます。これは、削除ボ タンを利用するのと同じです。

削除を利用するには:

- 1. 削除したい行を Universal Shield ウィンドウから選択します。
- 2. 編集 > 削除 (または Ctrl+R を押す)をクリックします。

#### すべて削除

すべて削除では、選択の有無に関わらず、Universal Shield メイン ウィンドウ リスト内のすべてのアイテムが削除されます。これは、Universal Shield リストにあるすべてのプロテクト中のオブジェクトを解除するためのもっと簡単な方法です。

すべて消去を使うには、編集 > すべて削除 (または Ctrl+L を押す)をクリックします。

#### 検索

検索(Ctrl+F) では、プロテクト中のオブジェクトを内のテキストを検索することができます。例えば、多くの プトテクト中のオブジェクトがリスト中にあり、その中からWord (.DOC) ファイルを見つけたい場合、DOC と検索ダイアログ ボックスに入力し、次を検索をクリックし、リスト内のDOCという名前を持つファイルを検 索することができます。検索ダイアログ ボックスでは、ワイルドカードを利用することはできません。

#### オブジェクトの検索

**オブジェクトの検索**(Ctrl+O) では、プロテクション リスト内のハイライトされたファイルを検索できます。 Universal Shield は、Windows エクスプローラを開き、ファイルの位置まで、その目的のオブジェクトがど こにあるかを表示してくれます。

#### プロパティ

プロパティを使って、オブジェクトに割り当てられたプロテクションを編集することができます。これにより、 Universal Shield リスト内で選択されているオブジェクトのファイル プロパティ ダイアログ ボックスが表示 されます。1 つ以上のオブジェクトが選択されている場合、それらすべてのプロテクションを一致させるこ とができます。

より詳細情報は、"オブジェクトのプロテクト"ページ 32 を参照してください。

## 暗号化

暗号化メニューでは、以下の機能が利用できます。

- <u>"暗号化ウィザード"ページ36</u>
- "ファイルを暗号化する" ページ 38

• "ファイルを複合化する" ページ 39

暗号化ウィザード

注意: はじめてのユーザは、暗号化ウィザードでファイルの暗号化を簡単に行うことができます。しかし、 Universal Shield の操作に慣れてくると、直接プロテクト中のオブジェクトを右クリックし、暗号化または 複合化をすばやく行う方法があることが分かると思います。

暗号化ウィザードは、ファイルの暗号化を紹介します。Universal Shield ウィザードを使って同じ方法でファイルを暗号化することができます-詳細情報は <u>"ファイルを暗号化するには" ページ 20</u> および <u>"ファ</u> イルを複合化するには" ページ 23を参照してください)。

注意: 暗号化するために選択したアイテムは、複合化されるまで残ります。プロテクションを無効化したり、Universal Shield ウィンドウから削除したとしても、暗号化されまま残ります。詳細情報は、<u>"ファイル</u> を複合化するには"ページ 23 を参照してください。

暗号化ウィザードを利用するには:

- 1. 暗号化 > 暗号化ウィザードをクリックします。
- 2. ファイルを暗号化するを選択し、次へをクリックします。
- 3. 暗号化するオブジェクトを選択します。例えば、Microsoft Word (*.DOC) ファイルを暗号化して、誰 にも利用できないようにするには、ファイルを暗号化するをクリックします。

Universal Shield Wizard - Step 3 of 5	×
オブジェクトを暗号化する	
暗号化したいオブジェクトをリストに追加してください。。オブジェクトをリストに追加するために、 リストに 追加ボタンを押してください。 エクスプローラから、 ファイルやフォルダをUniversal Shield ウィザードにドラ ッグ& ドロップして追加することもできます。	
C:半重要書類#レポート.doc       FIF系 ->         育耶系 ->       全て削除	
	5

- 4. 暗号化したいファイルを選択します。
  - a. リストに追加をクリックします。

<-リストに追加

b. ファイル選択ダイアログ ボックスで、**参照**を使って目的のファイルを選択します。テストのために、 重要でないファイルまたは、削除しても問題にならないファイルを選択します。

- c. ファイルが見つかったら、それをクリックして選択します。 開くをクリック (または、ファイルをダブ ルクリック)します。 選択されたファイルは、Universal Shield ウィザード ウィンドウに表示されます。
- d. 必要に応じて、リストに追加を使って1つ以上のファイルを選択することができます。
- e. ファイルの追加が完了したら、次へをクリックします。

Universal Shield Wizard - Step 4	of 5	×
暗号化の詳細		2×
暗号化アルゴリズムを選択	し、複合のために必要なパスワードを設定してください。	
暗号化アルゴリズム:	Blowfish	3
パスワード:	****	
パスワードの確認:	*****	]
	<<戻る スター	-KS ++>tUKS

- f. 使用する<u>アルゴリズム</u>をドロップダウンリストから選択します。
- g. <u>パスワード</u>を設定します。暗号化したファイルを利用したい人は、複合化のためのパスワードを 知っていなければなりません。
- h. スタートをクリックし、完了をクリックして選択されたファイルを暗号化します。
- i. 閉じるをクリックしてウィザードを閉じます。
- 5. Universal Shield ウィンドウは、暗号化したファイルを表示します。

10	Universal S	Shield v.3.3.0	(評価モード)											>
7	アイル 綿	主 暗号化	セキュリ	ティ オ	プション	ヘルプ								
2		・ 📩 ウィザード	2 編集		信束	Į	<mark> ロック </mark>							
#	パス					タイプ	Ţ	ウセス		読込み	書き	削除	可視	暗号化
1	│C:¥重要	書類¥レポート	.doc			ファイル	7	ルアクセス		~	/	1	<ul> <li>✓</li> </ul>	Yes
											$\mathbf{N}$			
												$\mathbf{i}$		
Bea	dν								1	プロテク	ションは有	効です		
1.00	-/													
														Univ
														のス

6. Microsoft Word、またはその暗号化されたファイルに適切な他のソフトウェアを使って暗号化された ファイルを開きます。その場合、ファイルが開けないか、またはスクランブル化されて利用できない状態で開かれます。 ファイルを暗号化するでは、すでに Universal Shield ウィンドウにリストされ、保護されているファイルを暗号化することがきでます。この機能を利用するには:

注意: 暗号化するために選択されたアイテムは、複合化されるまでそのままです。プロテクションを無効 にしたり、ファイルをUniversal Shield ウィンドウから削除してもそのまま残ります。さらに詳細は、<u>"ファイ</u> ルを複合化するには"ページ 19 を参照してください。

1. Universal Shield ウィンドウの中から暗号化が"No"となっているファイルを選択します。

							_ 0 >
ファイル 編集 暗号化 セキュリティ オプション	ヘルプ						
・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・       ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・       ・      ・      ・       ・      ・      ・      ・       ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・       ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・	<b>夏</b> - 日本 - 日	,					
# パス	タイプ	アクセス	読込み	書き	削除	可視	暗号化
1 C:¥重要書類¥レポート.doc	ファイル	アクセスなし	×	×	×	×	No
Ready			○ プロテク	रुवर्ग/स्तव	\$17: ব	,	

ステータスを表示しています。

- 2. 暗号化>ファイルを暗号化するをクリックするか、またはプロテクション リストにあるアイテムを右クリ ックし、ファイルを暗号化するを選択します。暗号化ダイアログ ボックスが表示されます。
- 3. ドロップダウン リストから利用する アルゴリズムを選択します。
- 4. <u>パスワード</u>を設定します。ここで暗号化したファイルを利用したい人は、これらを複合化するための パスワードを知っている必要があります。
- 5. スタート、閉じるをクリックして選択したファイルを暗号化します。

<b>뜡化</b> :			
暗号化アルゴリズ	Blowfish	<b>I</b> 22	?−ŀ( <u>s</u> )
パスワード:	****	<b>+</b> +;	ンセル(()
パスワードの確認:	****		
暗号化中ファイル:			
 合計: 1 ファイ	⁻ ル数	完了	

#### 注意: ファイルを複合化するには、暗号化パスワードが必要です。必要なパスワードなしではファイルを 複合化することはできません。

複合化は、暗号化したファイルを再び利用可能にするための唯一の方法です。複合化するファイルは、 Universal Shield ウィンドウ内に表示しておかなければなりません。ファイルをWindows エクスプローラか らドラッグ アンドドロップすることができます。ファイルの暗号を解除するには、暗号化>ファイルを複合 化を選択し、パスワードを入力します。さらに詳細は、"ファイルを複合化するには"ページ 23 を参照し てください。

## セキュリティ

セキュリティメニューでは以下の機能が利用できます。

- <u>"プロテクトの切り替え" ページ 40</u>
- <u>"信頼されたプロセス" ページ 40</u>
- <u>"パスワードの変更"ページ 41</u>
- "ステルス モード" ページ 41
- "可視モード"ページ 41

#### プロテクトの切り替え

プロテクトの切り替えでは、Universal Shield ウィンドウで選択されたオブジェクトのプロテクションを有効 または無効に切り替えることができます。

ファイル > オブジェクトのプロテクト または ファイル > Universal Shield ウィザードを使って、 プロテクションを追加することができます。これらの保護を有効にするには、プロテクションは、 有効になっている必要があります。アンロック ボタンをクリックして、またはセキュリティ > プロ テクトの切り替えを選択してプロテクションを有効にします。プロテクトが有効になると、リード、ライト、削 除、および可視がプロテクトされます。

選択されたオブジェクトがプロテクトされると、施錠された鍵アイコンが表示され、ステータスバーにプロ テクションは有効ですが表示されます。または、開錠された鍵が表示され、プロテクションは無効ですが 表示されます。

マイル 編集 暗号化 セキュリティ オブシ:		0 1					
1757日2 545 4 10 mm (11 mm)	917	アクセス	読込み	書き	削除	可視	暗号化
C:¥重要書類¥レポート.doc	ファイル	アクセスなし	×	×	×	×	Yes
C:¥重要書類¥編集中レポート.doc	ファイル	アクセスなし	×	×	×	×	No

選択されたオブジェクトのプロテクションは有効です

#### 信頼されたプロセス

信頼されたプロセスとは、プロテクトされたオブジェクトをアクセスすることができるアプリケーションまたは ソフトウェアです。信頼されたプロセスからは何も隠すことはできません。プロテクトされたファイルのウィ ルスをチェックするためのアンチウィルス ソフトウェアやデータ アーカイブのためのバックアップ ソフトウ ェアなどいくつかのアプリケーションを信頼されたプロセスとして登録することを考慮する必要があります。 この機能を使って、信頼されたプロセスやソフトウェア アプリケーションを信頼されたものとして登録して ください。

さらに詳細は、"信頼されたプロセスを設定するには"ページ 30 を参照してください。

#### パスワードの変更

パスワードの変更では Universal Shield ソフトウェアへのパスワードの設定や変更を行うことができます。 このパスワードは、ソフトウェアの実行や、アンインストールを利用してソフトウェアを削除する場合に必 要です。このパスワードは、利用者以外の人が Universal Shield を利用したり、アンインストールしたり することから守るために使用します。

Universal Shield のパスワード保護を有効にするには、セキュリティ>パスワードプロテクトオプションが 有効になっていることを確認してください。さらに詳細情報は、<u>"プロテクションの切り替え"ページ 42</u>を 参照してください。

さらに詳細情報は、<u>"Universal Shield ソフトウェアをパスワード保護するには" ページ 28</u> および <u>"パスワ</u> <u>ード プロテクト" ページ 47</u> を参照してください。

#### ステルス モード

ステルス モードでは、Universal Shield のインストレーションがすべてに非可視状態になります。— Universal Shieldのデスクトップ ショートカット、スタート メニュー ショートカット、およびプログラム ファイ ルフォルダなど。このモードでプログラムをアクセスするには、Universal Shield のホットキー機能を使う 必要があります。(<u>"ホットキーを設定するには</u>"ページ 30 および <u>"ホットキーを設定するには</u>"ページ 42)を参照してください。さらに詳細は、<u>"ステルス モードを利用するには"ページ 31</u>を参照してください。

ステルス モードを利用するには、スタート メニューやプログラム ファイル フォルダからUniversal Shield を実行することはできないので、設定しているホットキーの組み合わせを覚えている必要があります。ステルス モードを利用していて、ホットキーの組み合わせを忘れた場合、Universal Shield テクニカル サポートに連絡してください ("Universal Shield サポート"ページ 48) を参照してください。

#### 可視モード

**可視モード**メニューは、ステルスモードをオフにし、Universal Shield アイコンやプログラムファイルを再 び可視状態にします。デスクトップショートカットやスタートメニューから Universal Shield をアクセスした い場合は、ステルスモードをオフにします。しかし、これらのアイコンの存在を明らかにすると、操作方法 を知っている他の人によりプロテクトしているドライブ、フォルダ、およびファイルの存在を知られることに なります。

## オプション

オプション メニューでは、機能が利用できます。

- "常にトップに表示" ページ 42
- <u>"終了時にプロテクト"ページ 42</u>
- "ウィンドウズ開始時にプロテクトする" ページ 42
- <u>"パスワード プロテクト" ページ 42</u>

- <u>"ホットキーの設定" ページ 42</u>
- "フォント" ページ 43
- <u>"言語"ページ43</u>

#### 常にトップに表示

常にトップに表示では、他のアプリケーションが存在していても Universal Shield を常にトップに表示して、他のウィンドウにより見えなくならないようにすることができます。

#### 終了時にプロテクト

**終了時にプロテクト**では、利用中のUniversal Shieldを終了時にプロテクトを有効にすることができます。 完全に保護するためには、特に、ステルス モードをご利用の際は、このオプションを選択してください (<u>"ステルス モード" ページ 41</u>を参照してください)。

#### ウィンドウズ開始時にプロテクトする

ウィンドウズ 開始時にプロテクトするでは、Windows が開始されるといつでも Universal Shield のプロテクションが有効になります。これにより、誰かが Windows を再起動することでプロテクションを無効にすることを回避することができます。セキュリティ強化のためにこのオプションを選択してください。

#### パスワード プロテクト

パスワード プロテクトでは、Universal Shield のパスワード保護を有効にします。この機能を有効にすると、 Universal Shield を開始する毎に、また Universal Shield のアンインストール時にパスワードの問い合わ せ画面が表示されます。パスワードを使って Universal Shield の利用や Universal Shield のアンインスト ールを保護することで、第三者によるプロテクションの解除を防ぐことができます。

パスワードによりUniversal Shield を保護するには、セキュリティ>パスワードの変更でパスワードを設定 しておく必要があります。もしくは、Universal Shieldの終了時に選択をオフにしてください。さらに詳細情 報は、<u>"パスワードの変更" ページ 41</u>を参照してください。

#### ホットキーの設定

ホットキーは、Universal Shield を利用するために不可欠な機能です。これを使って、Universal Shield を ステレス モードにしたりすることができます。ホットキーはあるタスク、またはプロセスを実行、たとえば Universal Shield ソフトウェアを実行したりするためのキーボードの組み合わせです。

ホットキーの設定	? ×
<ul> <li>ホットキー</li> <li>ボットキーを有効にする(E)</li> <li>プロテクション モードの変更時にパスワードを 入力する(A)</li> <li>Universal Shield を閉く: Ctrl + Shift + 1</li> <li>プロテクションの切り替え: Ctrl + Shift + T</li> <li>プロテクションを有効にする: Ctrl + Shift + E</li> <li>プロテクションを無効にする: Alt + I</li> <li>プロテクション モードの変更を通知する:</li> </ul>	ок キャンセル( <u>с</u> ) ヘルプ( <u>H</u> )

- ホットキーを有効にする ホットキーを有効にするを選択すると、その機能が有効になります。 Universal Shield をステルス モードで使用するためのホットキーを設 定する必要があります (<u>"ステルス モードへ"ページ</u>)を参照してくだ さい。
- プロテクション モードの変更時 にパスワードを入力する と、ホットキーの組み合わせを使ってプロテクションをオンまたはオフ にする際にパスワードが問い合わされます。これにより第三者により ホットキーを使ってプロテクションが解除されることを回避することが できます。
- Universal Shield を開く Universal Shield を開始するためのホットキーの組み合わせを設定し ます。これは、Universal Shield が実行されていなくて、Universal Shield がステルス モードしてのみ実行可能な場合に有効です。
- プロテクションの切り替え Universal Shield のプロテクションのオンとオフを切り替えるためのホ ットキーの組み合わせを設定します。プロテクトされると、オブジェクト のリード、ライト、削除、および可視設定が適用されます。

プロテクションを有効にする プロテクションを有効にするでは、プロテクトを有効にするため専用 のホットキーの組み合わせを設定できます。

プロテクションを無効にする **プロテクションを無効にする**では、プロテクトを無効にするため専用 のホットキーの組み合わせを設定できます。

個々のホットキーをプロテクトを有効、無効にするために割り当てることで、1 つのホットキーよりもさらに高いセキュリティが可能になります。

プロテクション モードの変更を 通知する プロテクション モードの変更を通知するを選択すると、セキュリティ モードを変更するとメッセージ ボックスが表示され、現在のセキュリティ ィモード(有効または無効)に関する警告情報が表示されます。

さらに詳細情報については、<u>"ホットキーを設定するには"ページ 30</u>を参照してください。

#### フォント

フォントでは、Universal Shield メイン ウィンドウ内のオブジェクト リストを表示するために使用するフォントを選択することができます。

#### 言語

言語では、Universal Shield インタフェースの言語を選択することができます。これはオンラインヘルプの 言語は変更しません。またご使用のオペレーティングシステムも対応した言語に設定されている必要が あります。さもないと、言語が正しく表示されない場合があります。言語を変更したら、変更を反映するた めに必ず Universal Shield を再起動してください。

## ヘルプ

ヘルプ メニューでは、以下の機能が利用できます。

- "ヘルプ" ページ 44
- <u>"コンテキスト ヘルプ" ページ 44</u>
- <u>"ヒント" ページ 44</u>
- <u>"今すぐ購入"ページ44</u>
- <u>*登録</u>"ページ44
- <u>"バージョン情報"ページ44</u>

#### ヘルプ

**ヘルプ**では、デフォルト ページのオンラインヘルプを表示します。オンラインヘルプをメニューからアク セスするのに加えて、F1を押すことで、Universal Shieldの実行中にいつでもオンライン ヘルプを表示 することができます。

#### コンテキスト ヘルプ

**ヘルプ > コンテキスト ヘルプ**を使って、選択されたアイテムの簡単なツールチップを表示することができます。

#### ヒント

ヘルプ > ヒントでは、Universal Shield ソフトウェアに関する役に立つヒントを表示します。開始時にヒント を表示チェックボックスをチェックすると Universal Shield を開始した時に表示することができます。チェ ックを解除するとこれらのヒントは無効になります。

#### 今すぐ購入

**ヘルプ > 今すぐ購入**を使って、Universal Shield を購入するためのWebサイトを表示します。インターネットへの接続がない場合、この機能は動作しません。さらに詳細情報は、<u>"Universal Shield サポート" ペ</u> <u>ージ 48</u> および <u>"Universal Shieldの登録" ページ 9</u> を参照してください。

#### 登録

**ヘルプ > 登録**をクリックして、ソフトウェアの登録コードを入力することができます。さらに詳細情報は、 <u>"Universal Shield の登録" ページ 9</u>を参照してください。

#### バージョン情報

バージョン情報では、Universal Shield のバージョン情報を表示します。Universal Shield ソフトウェアを登録するための HTML リンクを表示します。

# アルゴリズム

Universal Shield では以下のパワフルな暗号化アルゴリズムを利用することができます。

- Blowfish
- CAST
- Cobra 128
- PC1
- Rijndael
- Serpent
- TMS
- triple-DES
- Twofish.

これらのアルゴリズムにより、ハイレベルで、商用グレードの暗号化保護が可能になります。同じアルゴリズムのみを利用するのではなく、提供されるすべての種類のアルゴリズムを利用することをお勧めします。 複数の暗号化アルゴリズムを利用することでご利用環境全体のセキュリティが高まります。これらのアル ゴリズムに関する詳細情報や技術説明は、Webサイトを<u>http://www.google.com</u>などの検索エンジンか ら調べることをお勧めします。

# ヒントとよくある質問

ドラッグ アンド ドロップ ファイルやフォルダを Universal Shield にドラッグ アンド ドロップする ことができます。 クリティカルなシステム ファイル クリティカルなシステム ファイルを隠さないでください。Windows が必 を隠さない 要とするファイルが隠しフォルダ内の1ファイルの場合、フォルダが可 視状態になるまで見つけることができません。 もし間違って重要なファイルを隠してしまった場合、コンピュータが起 動できなくなる危険性があり、システムを手動で回復しなければなら なくなります。これを回避するために、あるシステムプロセスを信頼さ れたプロセスをして登録する方法もあります。(詳細情報は、"信頼さ れたプロセスの設定"ページ 30を参照してください。) 取外し可能メディアのロック 第三者がプログラムをCD-ROM ドライブやフロッピーから実行するこ とを回避するにはあ、可視アクセス権のみを設定します。これにより ユーザはCD-ROMのファイルを開いたり、フロッピーからプログラムを 実行したりできなくなります。(詳細情報は、"ファイルやフォルダを隠 すには"ページ14を参照してください。) Universal Shield がクラッシュし 何かの理由でUniversal Shield がクラッシュしたり、悪意のあるユーザ がどうにかしてプログラムを終了した場合、ご使用のフォルダは、 たら? Windows 全体のセッションからはプロテクトされます。Windows の実 行中それらプロテクトを解除するには、Universal Shield を開始し、セ ットアップを設定することです。このためUniversal Shield をパスワード プロテクトすることを推奨しています。("パスワード プロテクション" ペ ージを参照してください。) ネットワーク フォルダをプロテク Universal Shield では、ローカルおよびネットワークドライブの両方を トできますか? プロテクトすることができます。フォルダを追加するダイアログボック スが表示され、ネットワークパスを参照することができます。 Universal Shield がどれだけ安 このバージョンではでき得る限りのセキュリティ機能を組み込みまし た。Universal Shield の提供するセキュリティは大変高度なものです。 全か? プログラムでセキュリティに関する問題を見つけたら、私たちに連絡 してください ("Universal Shield サポート" ページ 48 を参照してくだ さい)。私たちは調査し、より一層のセキュリティ強化に最善を尽くしま

ここで紹介されていない重要なFAQ にお気づきの場合、お気軽にご連絡ください。(<u>"Universal Shield</u> サポート"ページ 48)を参照してください。

す。

# パスワードの利用方法

ここでは、Universal Shield で利用するパスワードの作成に関していくつかの提案を紹介します。

- パスワードは、6文字以上で、望ましくは8文字以上を利用します。
- パスワード中には大文字小文字を混ぜます。
- 英数字にオペレーティングシステムでサポートされる特殊文字(!@#\$%^&*()_-.)を含めます。
- パスワードは定期的に変更してください。ほんのいつくかの文字を変更するだけでも結構です。
- 辞書で現れるパスワードは使用しないでください。
- パスワードに名前、日付(誕生日)、車のナンバ、ペットの名前などを使用しないでください。
- ネットワーク ログインを使用しないでください。
- パスワードをメモしてコンピュータの側に残さないでください。
- パスワードをコンピュータ上のファイルやメールに保存しないでください。
- アカウントを共有したり、パスワードを誰かに知らせないでください。
- パスワードを忘れたら、テクニカル サポートに連絡してください。<u>"Universal Shield サポート"ページ</u> <u>48</u>を参照してください。

# Universal Shield サポート

Universal Shield サポートは、オンラインにて<u>http://www.everstrike.com/support.htm</u> で提供されています。

テクニカル サポートに連絡する前に、以下の情報を予め準備しておいてください。

- Universal Shield のバージョン(ヘルプ > バージョン情報をクリック)
- Windows NT/2000/XPのバージョンおよびサービスパックおよび他のアップデート(コントロールパンル>システム>一般タブを選択)、英語版か、またはインターナショナル版かどうか。
- オーダ番号または登録キー(すでにライセンスを購入されている場合)
- 問題に関する説明(可能な限り入手できる多くの情報) および再現方法を文章ファイルに書き込んで (Microsoft Word や Notepad) 送ることができるとより効果的です。

Everstrike Software ホームページ:	http://www.everstrike.com
テクニカル サポート:	support@everstrike.com
セールス&アップグレード:	sales@everstrike.com
一般的な問い合わせ:	info@everstrike.com

Our U.S. address:

Pacific Business Centre Att: Everstrike Software P.O. Box 34069 #381 Seattle, WA 98124-1069 USA

## FAX:

206-984-3919 (+1 309) 276 60 69

**VOICE:** +1-866-70-80-900

#### 日本国内

株式会社ネクステッジテクノロジー 029-858-1126 代表 shareEDGE ホームページ:

テクニカル サポート:

セールス&アップグレード:

一般的な問い合わせ:

http://www.shareEDGE.com support@nextEDGEtech.com

**Our Canadian address:** 

Pacific Business Centre

Att: Everstrike Software

Suite 381

Canada

#101 - 1001 W. Broadway

Vancouver, BC V6H 4E4

sales@nextEDGEtech.com

contact@nextEDGEtech.com

# Universal Shield のアンインストール

アンインストールは、Universal Shield が実行されていない場合にのみ可能です。Universal Shield がパ スワードで保護されている場合、アンインストールするためには、パスワードが必要です(より詳細情報 は、<u>"パスワード プロテクト"ページ 42</u>を参照してください)。

- 1. Universal Shield を終了します。
- 2. Universal Shield の完全なアンインストールを実行するには、コントロールパネルの プログラムの追加/削除ツールを使用してください。
- 3. Universal Shield がパスワードで保護されている場合、入力が表示されたらパスワードを入力してく ださい。

# 用語

アルゴリズム	アルゴリズムとは、暗号化の方法です。 Universal Shield では、以下 のアルゴリズムを利用することができます。 CAST, Cobra 128, PC1, Rijndael, Serpent, TMS, tri-ple-DES, および Twofish
	さらに詳細は、 <u>"アルゴリズム" ページ 45</u> を参照してください。
キャンセル	<b>キャンセル</b> ボタンをクリックすることで、変更の保存や、適用をするこ となくダイアログ ボックスを終了します。
非可視	非可視とは、見えなくすることで、Windows エクスプローラやファイル オープンダイアログ ボックスから見えなくなることを意味します。
ホットキー	ホットキーは、Universal Shield ソフトウェアを実効したりなど、あるタス クやプロセスをアクティブにするためのキーボードの組み合わせで す。
	さらに詳細は、 <u>"ホットキーを設定するには" ページ 30</u> を参照してく ださい。
OK	OK ボタンをクリックすることで変更を保存、適用しダイアログ ボックス を閉じることができます。
パスワード	Universal Shield ソフトウェアでは、しばしばパスワードの入力を必要 とします。設定したパスワードを <b>パスワード</b> テキスト ボックスに入力し てください。その後、確認のためのパスワードも同じ内容を入力しま す。Universal Shield ソフトウェアでは、入力間違いを避けるために、 両方のフィールドに同じパスワードを入力する必要があります。
	さらに詳細は、 <u>"パスワードの利用方法" ページ 47</u> を参照してくださ い。パスワードの入力が完了したら <b>次へ</b> をクリックします。
信頼されたプロセス	信頼されたプロセスは、すべてのプロテクトされたオブジェクトにアク セスすることができます。アンチウィルスなどの特別なアプリケーショ ンを信頼されたプロセスとして設定し、そのソフトウェアがプロテクトさ れたファイルにアクセスできるようにしたりできます。
	さらに詳細情報は、 <u>"信頼されたプロセスの設定方法" ページ 30</u> を 参照してください。
ワイルドカード	Windows では、アスタリスク (*) および疑問符 (?) をワイルドカードと して使用します。 検索では、アスタリスク (*) は任意の長さのいずれ かの文字を表し、疑問符 (?) は、任意の1 文字を表します。
	さらに詳細情報は、 <u>"マスクを使って複数のファイルを選択するには"</u> <u>ページ 28</u> を参照してください。

# 索引

## 記号

* 30 ? 30

# A

about 44 access permissions 14 address 48 algorithms 45 allowing some software to see hidden files 30 alt key 30 always on top 42 anti-virus 30

# B

backup software 30 Blowfish 45

# С

CAST 45 change password 41 clear all 36 Cobra 128 45 combo keys: See hot keys. contact 48 contacting us 48 contact help 44 control panel 25 copy 35 ctrl key 30 customizing protection 27

# D

date/time settings 25 decrypt file 39 decrypting 14 delete 34, 35 documentation 1 *See also online help.* 

# E

edit menu 35 e-mail 48 encrypt file 36 encrypting 14 encryption 20 encryption menu 36

## F

FAQ 46 favorites 25 file menu 32 find 36 find object 36 font 43 frequently asked questions 46 full access 33

# G

getting started 11 go to stealth mode 41 go to visible mode 41

# Н

help 43

help menu 43 help: Press F1 at any time. hidden files exceptions 30 hide 14 hiding multiple files 28 Universal Shield 31 hiding files in several directories 28 hints 46 history 25 hot keys 30 stealth mode 31 how to encrypt 20 hide a file 14 register 9 set permissions 18 set read only 18 show a hidden file 17 unhide a file 17 how to install 6 how to uninstall 49

# I

Installing how 6 Internet history 25

## L

language 43

launching Universal Shield: See running.

## Μ

masks 28 menus edit 35 encryption 36 file 32 help 43 options 41 security 40 my documents 25

# Ν

no access 33

# 0

online help 1 opening Universal Shield: *See running.* options menu 41 other access 33

## Ρ

password protection 42 PC1 45 permissions 18 phone number 48 properties 36 protect control panel 25 data/time settings 25 favorites 25 history 25 my documents 25 protect after exit 42 protect included files 32 protect object 32 protect on Windows start 42 protecting Universal Shield 31 protections customizing 27 editing 27

## Q

quickly 14, 18, 25

## R

read 33 read-only 18 register 44 registering how 9 removing Universal Shield from your computer 49 Rijndael 45 running Universal Shield

# S

sales 48 security menu 40 security tricks 25, 34 select drive 32 Mask 32 path 32 Serpent 45 set hot keys 30 setting access 14 shift key 30 show 17 software license 6 stealth mode 31 support 48

# T

technical support 48 tip of the day 44 tips 44 TMS 45 toggle protection 40 triple-DES 45 trusted processes 30, 40 turning off tips of the day 44 Twofish 45

# U

unhide 17 uninstalling how 49 Universal Shield hiding 31 protecting 31 Universal Shield wizard 34 upgrades 48 URL 48 user guide 1 using Universal Shield 14

## V

visibility 14, 17, 34 visible mode 31

# W

Web site 48 wildcards 28 asterisk 29 question mark 29 write 34